

# EYE NET

アイ・ネット

第52号

令和2年2月

発行 前原校区

青少年育成指導員会

編集 広報部

## 第8回前原校区ぬくもり文化祭

前原校区青少年育成指導員会は、広報活動として、10月26日、27日に開催された、前原校区ぬくもり文化祭に参加しました。



青少年育成指導員の  
あそびブースの**ダーツ**には、  
たくさんの方が来てくれました。  
ありがとうございました！

### 前小5年生が餅まき用の餅をつきました

餅つきに使ったもち米は、  
5年生が地域の方たちの  
協力で稲を栽培し、  
収穫したお米と  
交換したものです。



【餅つきの様子】



毎年恒例の三世代交流を目的とした『ぬくもり文化祭』が、10月26日と27日の2日間に渡り、前原小学校と前原公民館で盛大に開催されました。青少年育成指導員会が担当したダーツゲームは、参加人数500人超で過去最高でした。今年もまたたくさんの方の参加をお願いします。

## 育成標語看板について

各行政区などに「育成標語看板」を設置させていただいています。  
看板が破損もしくは通行に危険な状態の時は、前原公民館（322-2481）へ連絡をお願いします。

### 標語看板設置位置図



## 前原校区青少年育成指導員とは？

前原校区のうち、7行政区(筒井町, 浦志西, 浦志南, 東町, 北新地, 北本町, 上新町)から2名、5行政区(油比, 新田, 上町中央, 南本町, 西町)から1名の計19名が系島市から香囀され、青少年の指導、育成、保護、地域防犯および各団体の運営補助等を行っています。

会長 西村(上新町), 副会長 杵島(油比), 同 益田(筒井町)  
【育成研修部】5名, 【環境指導部】7名, 【広報部】7名, 計19名

### 活動方針

## “地域の子どもは地域で守り育てよう”

#### 地域の一員として健全に育つための導き

- ・ 駅伝大会の支援
- ・ 地域の夏祭り、文化祭への参画

#### 非行に走りにくく、犯罪・事故から守る環境づくり

- ・ (夜間)青色パトロール、夏祭りパトロール
- ・ 標語看板設置、広報誌発行

### 主な年間活動

- ◇ 全体会 (年4回)
- ◇ 執行部会 (年11回)
- ◇ 校区内夜間巡回 (年6回)
- ◇ 青少年育成指導員研修会 (5月25日)
- ◇ 青色パトロール講習会 (5月21日)
- ◇ めくもりコンサート (6月22日) (運営補助)
- ◇ 夏祭り夜間巡回 (他団体共同7月24, 25日)
- ◇ 行政区夜間巡回 (各行政区夏休み期間中2回)
- ◇ めくもり文化祭 (10月26, 27日) (5年生餅つき補助, ダーツ)
- ◇ 前原・東風校区対抗駅伝大会 (12月8日) (運営補助)
- ◇ 広報誌「EYE NET」発行
- ◇ もりもりひろがる森林づくり (2月22日予定) (後援事業)



## 前原小学校“朝のスッキリ体操”1分10秒を紹介

### 椅子バージョン

- ①背筋伸ばし+体幹ひねり(右・左)
- ②腕回し(後ろ・前・後ろ)両腕
- ③両腕を前後に回す(右前2回、左前2回)
- ④首回し(右回し、左回し)各1回
- ⑤足首(足先アップ、かかとアップ)+肩(肩の外旋、内旋)の運動
- ⑥足上げ(腹筋、腸腰筋)(腕、大胸筋)(右、左、両足)
- ⑦深呼吸(2回)+じゃんけん等

### スタンディングバージョン

- ①から④までは、左と同じ動き
- ⑤背伸びをしながら(3回)肩(肩の外旋、内旋)の運動
- ⑥スロースクワット(足を前後に開いてダウン、アップ)右、左各1回
- ⑦深呼吸+ポーズ等

※その日の状態等を見て、無理のないペースで行う事。

## 青少年育成指導員研修会

令和元年  
5月25日(土)



【研修会 講演の様子】

毎年、年度初めに青少年育成指導員を対象とした研修会を実施しています。研修会では外部講師による講演会を行い、育成指導員としての心構え、青少年との接し方、地域社会とのかかわり方などを学んでいます。

今年度は、「NPO法人SFD 21 JAPAN」理事長の小野本 道治氏をお招きし、団体の活動を通じた青少年との関わりについて講演していただきました。

### 【NPO法人SFD 21 JAPANの紹介】

- ・(小野本氏)古賀市出身、小学校3年に前原に引っ越す。小、中を前原で過ごす。
- ・2001年設立、2012年にNPO法人化(所在地福岡市西区廿原)
- ・SFD=魂(Soul)・友(Friend)・夢(Dream)
- ・いわゆる「不良少年」達の居場所づくりのためアームレスリングを取り入れ、九州大会優勝、さらに全国大会上位入賞を果たしている。
- ・農園活動、高齢者施設での清掃活動、落書き消しなど、ボランティア活動を通じて更生を支援している。
- ・小野本氏のもとに来た若者の多くがSFD21のスタッフとして残り、青少年に対する街頭指導や自身の経験を基にした講演を行い、団体の活動を支えている。
- ・設立当初は、自宅のジムに「不良少年」が集まってくることが多く、地元から多くの苦情が寄せられ、活動が理解されず大変だった。
- ・新聞やテレビに活動内容が取り上げられることが多くなり、次第に理解者が増えていった。
- ・県、市、警察および各団体で構成する、(青少年の)立ち直り支援研究会の一員としても活動している。

小野本さんのもとには、糸島半島一円の「不良少年」達が集まってきます。彼らは上下、横のつながりが強く、先輩や友人の話を聞いて来るそうです。そんな彼らと、アームレスリングや地域ボランティア活動でのエピソードを交えて、青少年との関わり方を講演していただきました。いくつかのエピソードを紹介します。

#### 【Episode1】夢はアームレスリング世界一

「糸島の全中学校を制覇」と言う後輩に対し、先輩は日本地図を見せながら「(糸島制覇なんて小さい)俺は(アームレスリングで)全国制覇」と答えた。また、全国大会優勝経験のある女子は、強豪国のロシアなどを意識し世界に目が向いている。

#### 【Episode2】ハロウィンと特攻服

もはや恒例行事となったハロウィン。天神警固公園は7千人の人出で、深夜でも数百人が大騒ぎ。さらに仮装して顔が分からないことをいいことに、痴漢や迷惑行為も横行する。一方、中学校卒業式後に特攻服を着た中学生が警固公園に集合すれば、警察に補導されてしまう。彼らは「なぜハロウィンがよくて、特攻服を着て集まっている自分たちがだめなのか」と大人の都合に矛盾を感じている。

#### 【Episode3】信頼できる大人のためなら・・・

SFD21と西警察署との合同の落書き消しを行った。署長や他の警察署から見学者も来る一大イベントだ。しかし、彼らは落書き消しが好きというわけではない。日頃から彼らの活動を理解して交流のある西警察署の某課長のために、20数名が参加したのだ。おかげで落書き消しは成功裏に終了した。彼らは信頼できる大人のためなら、上下、横のつながりを駆使して喜んで協力するのです。

#### 【Episode4】中学生ボランティア部設立

素行不良の中学3年生数名が「卒業するまでの間、ボランティア部を作りたい」と学校に訴えるものの、「自分の事がろくにできないのに(ボランティアなんて)できるわけない」と却下された。彼らが小野本さんに相談し、地元の高齢者施設の草刈りを行った。それ以降、定期的に清掃を行っている。また、敬老の日に西署職員とアームレスリング大会を開催し、施設から感謝状が贈呈された。

#### 【Episode5】九大生とのトークバトル

(西日本新聞平成31年2月11日記事より)元「不良少年」、九大生として現役中学校教師が教育や学校生活について本音をぶつけ合う、「トークバトル」を開催した。一見、交わりがなくむしろ反目しあう者どうしのように思えたが、準備期間も含めてお互い関わるにつれて、普通に飲みに行ける友達となった。また、参加した教師からは、「力でなく本音をぶつけないと、信頼関係なんて作れない。」「目立つ子もそうでない子も立派に成長する。子供たちに寄り添っていけるよう努力したい。」の声があった。

#### 【講演の感想】

約1時間半の講演でのエピソードの一部ですが、これらに共通していることは、自分たちを理解し信用してくれる大人に対しては非常に協力的で、また、「人の役に立ちたい」という意識が強いことです。なぜ、彼らは自分の親や教師ではなく、小野本さんのことを信頼しているのでしょうか。それは、小野本さんがありのままの彼らを受け入れ、真摯に向き合おうとしているからではないかと考えます。非行に走る原因が彼らに対する無理解、相互不信であれば、身近な大人が彼らのことを理解し、真摯に向き合う必要があるのではないのでしょうか。

※本講習会は福岡県青少年育成課「非行防止・ネット依存防止地域ミーティング」を基に実施しました。